

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	291
		決裁期日	平成30年11月28日
名 称	住民会長との町政懇談会		
日 時	平成30年11月26日（月） 午後1時30分～午後3時		
場 所	消防2階大会議室		
出席者	住民会長22名（別紙） 理事者：向山町長・石田副町長・服部教育長 課長・主幹職：林会計課長他14名（別紙） 町民生活課自治推進班：床鍋主幹、船引主査		
内 容	<p>司会：石田副町長…開始前に副町長より町立病院とラベンダーハイツ（特養）の新規職員採用について名前のみ紹介があった。</p> <p>町立病院…佐藤看護師、大場臨床検査技師</p> <p>ラベンダーハイツ…門脇介護士主任、本城介護士主任</p> <p>○向山町長挨拶</p> <p>ご多用中、住民会長の皆様におきましては参加していただきお礼申し上げます。7月後半から病気の治療のため2カ月、役場を離れており、皆様にはご心配をおかけしましたが10月より復帰した。</p> <p>今年、北海道は自然災害が多い年で、7月の豪雨災害、9月の台風被害のほか、北海道胆振東部地震による停電で町では避難所の開設も行った。地震による直接の被害は免れたが、防災についての意識が改められた。</p> <p>今年の作柄については、日照時間が短く、低温が続いたことにより不作の年となった。このことにより、未来に向けて農業を応援するためにも施策を検討し、まとまり次第に農家の皆様へお知らせしていきたい。</p> <p>現在、第6次総合計画を策定中で、基本構想を6月に議会からの承認を得て、前期基本計画について第6次総合計画審議会へ具申し、答申を経て了解を得たことから、町民の皆様へ計画の内容を伝えていく予定。年度末までには第6次総合計画をスタートできる体制を構築していきたい。計画では上富良野町の将来を見据えた計画になるよう皆様からご意見をいただいている。</p> <p>社会を取り巻く問題として、油の価格高騰があげられる。冬に向けて生活弱者の家計を直撃することから、11月30日の臨時議会で議会に提案し、福祉対策を講じていきたい。</p> <p>町では町民の生活安定に向けて努力をしていきたいと考えていることから皆様からのご意見をいただきたい。</p>		

【議事】

議題1 投票区の見直しに向けて

説明者： 総務課長より資料1に基づき説明

4月の町政懇談会で投票区の見直しについて考え方などを説明し、住民会内で意見がないか確認をお願いしたところ、特に意見は無いとのこと。

前回、調整中だった期日前投票所の複数設置については、調整していたフジスーパーより、経営元のアークスグループから設置は難しいとの回答をいただいたことも報告。スーパーの駐車場に仮設の投票所の設置等も考えたが、建築基準法の関係などで実現に向けては難しいという結果となった。

投票区数を10カ所から5カ所に変更することについては、住民会長より会場で了承いただいた。4月の統一選挙より実施する。

議題2 町道除排雪について

説明者： 建設水道課長より資料2に基づき説明

質問：道道吹上上富良野線の道路の拡張工事の際に川を使った融雪溝はできないか。(旭野住民会長)

回答：工事についてはH31年に用地を確定し、H32年に工事を行うが、北海道では融雪溝の工事は計画されていない。(建設水道課長)

地域の声については町からも伝達する。融雪溝の設置は技術的にも可能なのかあわせて確認する。(副町長)

議題3 除雪サポーターの募集について

説明者： 保健福祉課長より資料3に基づき説明

除雪サービスの説明のほか、この事業の除雪作業員が不足していることから協力者を募集中であることを説明。昨年は13人の登録があった。現在104名のサービス希望者がおり、高齢者事業団等での対応は可能だが、新規で除雪サービスを希望する方が増えた場合は対応が難しいこともあることから、住民会長へサポーター募集の情報提供をお願いした。

議題4 冬季の健康づくりの推進について

説明者： 保健福祉課長より資料4に基づき説明

保健福祉総合センターかみんのプールと社会教育総合センターのアリーナ等は1カ月間無料で利用可能とする。かみんについては、プールの利用後に浴室を使用することは可能だが、浴室のみの利用は不可。あくまでもプールを使用しての健康づくりを目的としていることが説明された。

議題5 平成31年度健診受診料の改正について

説明者： 保健福祉課長より資料5に基づき説明

H31年4月より、年齢による区分ではなく町民税の課税状況により受診料が確定する。毎年、課税状況確認同意書の提出が必要になるとのこと。

その他 平成 30 年北海道胆振東部地震に伴う町内停電の状況について

説明者： 総務課長より資料 6 に基づき説明

質問：停電の際の学校給食について、9月7日に停電が解消された場合は学校給食が再開できないことから、家庭でお弁当を持ってくるようにとの連絡網があった。電気が復旧しても家庭ではお弁当が作れないところもあると思う。実際には電気が復旧したのは8日であったので登校していないが、午前授業にするなど配慮が必要であったのでは。(宮町住民会長)

回答：お弁当の件については、おにぎりなど食べられるものを持ってきてもらうといったように配慮が必要であった。今後はこのようなことがないようにしていきたい。(教育長)

(14時30分)

○意見交換

住吉住民会長：西町の町営住宅について空き家が目立つ。今回の停電の際に安否確認などでは、飛び飛びで入居されているので、情報周知が大変であった。空き家があるのは防犯上でも好ましくないので、1つの町営住宅に移動するなど検討してはどうか

町民生活課長：西町の町営住宅については空き家が増えており、泉町についても新築した棟や、他の町営住宅についても空室があることからそれを踏まえて見直しを行っていきたい。

副町長：町営住宅の入居者を1カ所にまとめることは除雪の面などでも利点はある。しかし、移り住むとしても入居者の思いもあることから難しいことでもあるので、検討材料としてご意見をいただく。

住吉住民会長：9月に敬老会で出席できない方については、町長のお祝いメッセージと一緒に記念品を渡して喜ばれていることから、来年から必要枚数を印刷してもらえないか。

保健福祉課長：町長からの祝文については、2、3カ所の住民会から申し出をいただいている。必要であれば準備するのでお知らせいただきたい。

住吉住民会長 住吉地区は町全体よりも高齢化率が高いという特性がある。地区の住民からラベンダーハイツが満床で入所できずに町外の施設に入所したという話を聞いた。町内の施設なのに地元の住民が入所できないということだが、現在の入所人数と空きは何部屋あるのか。また、何年も待っている待機者を優先できないのか。

ラベンダーハイツ所長：ラベンダーハイツの定員は50人で41人が入所している。H29年度にフルタイムで働く臨時職員が多数退職し、人員不足のため入所が受け入れられないこともあった。現在は職員の募集と新規採用もあり、サービスの提供ができるように調整しているところであるためご理解い

ただきたい。

南町住民会長： 以前から東1線と東2線の北24号道路について歩道の設置をお願いしていたところだが、いつも前進する話もないことから、速度制限をしてほしいとお願いしたところ、40キロの速度制限を行うとの話であった。いまだ、標識などはないので、現状はどのようなになっているか。

建設水道課長： 歩道設置については平成30年度に設置して問題がない場所か調査した。これをもとに国交省とも可能か検討し、調整中である。年明けに結論がでると思われるが、わかり次第お知らせする。

南町住民会長 新聞報道では核のごみの受け入れを拒否する意見書のこと掲載されていた。核のごみの最終処分場の最適地について北海道も取り上げられており、道内の86市町村が対象となっていたが上富良町は該当するのか。北海道や美英町などの市町村では持込みを拒否する条例を設け、受け入れないと考えている。いざとなったら、国から条例に関係なく打診される場合もあると考えられることから、上富良野町での対応はどうなっているか。

総務課長 新聞報道では処分場選定のためのマップが公表されており、地理的な状況は考えず、活火山がないかなどの条件をつけて単純に分けたものとなっている。上富良野町については十勝岳があるため、火山から20kmの範囲は対象外。しかし、西側の山林については一部対象となり得る場所もある。場所の選定については先の話となると思われるが、近隣の市町村とあわせて考えていきたい。現在のところは国から打診されていない。

○向山町長挨拶

本日は大変忙しいところ、町政懇談会では議題について熱心に討論していただき、感謝申し上げます。皆様からは町に危機管理をしっかりしてほしい、安心して暮らせる住環境を整えてほしいとのご意見をいただいた。来年度の予算査定の時期を迎えていることから意向に沿えるものにしていきたい。

《閉会》

(15時)

町政懇談会終了後、同会場で15時10分から住民会長連合会情報交換会が開催された。